

流布本「夫木抄」の本文批判 (二)

福田 秀一

前回(本誌前々)に続いて、巻十から巻十八まで(の秋・冬)につき、活字本と板本との異同を対照して表示する。活字本と板本との対校の結果を示しただけでは、いさゝか羊頭狗肉のそしりを免れないが、諸本の調査・校合は、まだ筆者自身十分なしとげてゐないので、現段階の報告としては、この対校表をもつて諒とされたく思ふ。これだけでも、当面の必要には或る程度応へるであらうし、又かゝる報告も急務であると信ずる所以は、前回説いたから繰返さない。なほ、諸本との校合を十分果してゐないと右に述べたが、若干の本については主要な箇所をいくつか校合して手許に控へてあり、その作業は現在も進めつゝあるから、所要の向は照会されれば幸である。

今回の稿に取上げた部分について、国書刊行会本(国)の頁数を校註国歌大系本(系)のそれに換算するには、次の表を利用されたい。この表の使ひ方をはじめ、本文の表の体裁・内容・略号等は、すべて前回の通りである。

国→系の換算表			
国の頁数	系の頁数	上の頁数	系の頁数
二六六〇二八二	上記に	一一を加へる	三八六
二八三	一一	二	三八七〇四一五
二八四	一一	二	四一六〇四三八
二八五〇三〇六	一一	二	四三九
三〇七〇三〇八	一一	二	四四〇
三〇九	一一	二	四四一〇四六七
三一〇〇三一九	一一	二	四六八
三二〇〇三二一	一一	二	四六九
三二二〇三四五	一一	二	四七〇〇四九一
三四六〇三五三	一一	二	四九二
三五四	一一	二	四九六
三五五〇三七二	一一	二	四九七〇五二八
三七三〇三八四	一一	二	五二九
三八五	一一	二	二一

頁	行	部分	活字本	板本	備考
二六六	一〇	二	庭のくさむら	庭の村草	活ノ誤カ
〃	一二	肩	新六一	〔ナシ〕	
二六七	四	作	和泉式部	泉式部	
二六九	七	肩	古采歌	〔ナシ〕	
〃	一四	肩	新六ノ六	新六々	
〃	一五	肩	新深窓	新深々	板ノ誤カ
二七〇	一	肩	万代	〔ナシ〕	
〃	二	肩	秋風	〔ナシ〕	
〃	八	肩	万八	〔ナシ〕	
〃	九・二四・一六	肩	六一	〔ナシ〕	
二七一	七	初	しくれをは	しくれせは	
二七四	七	詞	嘉永元年……	嘉元々年……	活ノ誤
〃	一一	五	かねて知しも	かねてしるしも	〃
〃	一七	肩	万十	〔ナシ〕	
二七六	三	肩	万代	〔ナシ〕	
〃	四	肩	万十	〔ナシ〕	
〃	五・一六・一七	肩	同	〔ナシ〕	
〃	七	肩	六帖	〔ナシ〕	
二七七	二	校	*あし敷	〔ナシ〕	
〃	五	肩	雲葉	〔ナシ〕	
〃	一六	作校	よみひとしらずイ	〔ナシ〕	
二七八	一〇	五	*ほりあひの空	ほしあひの空	国ノ誤植

二七九 三 作 太宰大貳兼家卿
 二八〇 九 作校 老イ
 二八一 一 詞 嘉元二年…
 〃 一 肩 新六一
 〃 一三 詞 ……鵲翩悲…

「…重家卿」トアルベキカ
 活ノ誤読
 〔ナシ〕
 嘉元二年…
 〔ナシ〕
 ……鵲篇悲…

卷十一

二八三 三 題 刈萱
 〃 六 作校 太宰師大伴旅人卿万
 二八四 二 五 萩のはなちるし*
 二八五 八 五 めつるけふ哉
 〃 一〇 四 あさしはをのゝ
 〃 一一 四 はなをふかさね
 二八六 五・八・九 肩 万十
 〃 一〇 詞 本院左大臣家…
 〃 〃 肩 六三
 〃 〃 作校 覚イ
 〃 〃 肩 六二
 二八七 一 肩 現存六
 〃 〃 四 あさ沢はらの
 二八八 八 肩 六二
 〃 一 詞 家集萩歌中
 〃 一四 肩 万代
 〃 一五 詞 ……岸辺萩草

刈萱
 〔ナシ〕
 萩か花ちる
 みつるけふ哉
 あさしはをのゝ
 花をふりさね
 〔ナシ〕
 〔前行ニアリ〕
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 あさ沢はらの
 〔ナシ〕
 家集萩歌中
 〔ナシ〕
 ……岸辺萩花
 活ノ誤力
 活ノ誤読
 活ノ誤力
 活ノ誤力
 活ノ誤力
 活ノ誤力

たか袖かけし
〔ナシ〕
民部卿爲家卿
〔ナシ〕
花のあたりに
いさやこら
つゆにいそひて
萩あそひせん
しかしよるきる
万中
〔ナシ〕
〔ナシ〕
〔ナシ〕
〔ナシ〕
〔ナシ〕
侍所かあらん
〔ナシ〕
〔ナシ〕
帰ましけれ
…みなへうへの
〔ナシ〕
ゆきつゝこえし
六一
〔ナシ〕

活ノ誤読力

三二六

八 作

僧都源信

僧都源心

活ガ正シキカ

三二七

三 肩

六帖丁 万八

〔ナシ〕

活ガ正シキカ

〃

四 肩

六二

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

〃 作

源養父

深養父

活ノ誤読

〃

六 肩

六五

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

一一 二

ちかへる野への

ちかへる野への

板ノ誤力

三二八

一 三

つはくらめ

つはくらめ

活ノ誤読力

〔注1〕

コノ一首、管見ノ写本ニハアリ。

〔注2〕

〔新深窓〕〔新深窓秘抄〕ノ略ノ「深」ノ字ガ「除」ノ字ニ近キ例ハ、隨所ニアリ。

卷十二

三一九

五 作

岳本天王御製

山本天王御製

活ガ正シキカ

〃

六 四校

とイ

〔ナシ〕

活ガ正シキカ

〃

七 五校

山イ

〔ナシ〕

活ガ正シキカ

〃

九 五校

きイ

〔ナシ〕

活ガ正シキカ

〃

一〇 二

*都にしあは

みやこにしあは

国ノ脱落

〃

一一 肩

万一

同

活ガ正シキカ

三二〇

二 五

山田もらすこ

山田もらすこ

活ガ正シキカ

〃

三 肩

万八

〔ナシ〕

活ガ正シキカ

〃

五 四

*をのはの山に

をとのはの山に

活ガ正シキカ

三二二

七 五

鹿そなくなる

鹿そなくなる

活ガ正シキカ

〃

九 校

ちイ・さえイ

〔ナシ〕

活ガ正シキカ

三二二

一 作

中務卿のみこ

中務のみこ

活ガ正シキカ

〃

一 作

中務卿のみこ

中務のみこ

活ガ正シキカ

三三三	二	三	よる／＼に
〃	四	校	かい
〃	一〇	二校	まい
〃	一六	二	あきたつしかの
三三四	一	詞	寛喜元年…
〃	八	二	*鹿のしげみに
三三五	七	詞	*…夕廉
〃	八	肩	*雲葉
〃	一三	三校	をイ
三三六	八	校	みイ
〃	九		侍へるらん
〃	一三	詞	…家成卿歌合鹿
〃	一五	肩	六五
三三七	一五	詞校	師イ
〃	一七	作校	同イ
三三八	三	肩	万代
〃	一五	詞	喜元二年…
〃	〃	初校	けイ
三三九	一六	詞	…白川夏七百首…
〃	一	二	ならしのをかの
〃	七	校	れカ
三三〇	一	三	正本もて
〃	六	詞	三十六人歌
〃	八	詞校	曉鹿イ

よる／＼は	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
あきたつしかの	〔ナシ〕
寛喜元年…	〔ナシ〕
萩のしげみに	〔ナシ〕
…夕廉	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
侍へるらん	〔ナシ〕
…家成卿家哥合鹿	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
喜元二年…	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
…白川殿七百首…	〔ナシ〕
ならしのをかの	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕
まさか木もて	〔ナシ〕
三十六人哥合	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕

活ノ誤植カ

板ノ誤

国ノ誤

国ノ誤読カ

系ハ「かい」

活ノ誤読カ、系ハ「侍るらむ」

活ノ脱落

「嘉元二年」トアルベキモノ

活ノ誤読

板ノ誤カ

活ノ脱落

雨ふれと
 寛治二年八月四条宮哥合
 「ナシ」
 「ナシ」
 「ナシ」
 「ナシ」
 ふるさとも
 「ナシ」
 万
 「ナシ」
 おほひはを
 みゆる岩哉
 秋哥中古米哥合
 「ナシ」
 ……江月鴈聞
 あはれにしつる
 雲ゆくはねに
 「ナシ」
 新六
 久応元年…
 「ナシ」
 「ナシ」
 「ナシ」
 いくたひ露を
 「ナシ」
 活ノ誤読ト誤植カ
 板ノ脱落カ
 系ハ「旅宿路イ」
 板ガ正シ
 活ノ誤力
 板ノ誤力
 活ノ誤力

三四六 九〇二 肩

万八
霜もおきぬかに

〔ナシ〕

〃 一二 肩

万十

〔ナシ〕

〃 一二 四

かる時すぎぬ

かり時すぎぬ

〃 〃 作

よみ人しらず

〔ナシ〕

三四七 四・八 肩

新六二

〔ナシ〕

〃 一五 詞

*…当座三百首歌合

…当座三百哥合

三四八 五 肩

六二

〔ナシ〕

〃 七 校

右イ

〔ナシ〕

〃 一七 肩

六 万十

〔ナシ〕

三四九 四 三

つなはへて

活ノ誤読

〃 五 詞

題不知古来歌合

題不知古来哥合

〃 一四 三

はすや云々

活ノ脱落

〃 一七 三

徒然に

いたつらに

三五〇 六 詞校

稗イ

系ハ「扱イ」

〃 〃 初

十代田の

板ノ誤カ

〃 七 二

そしろの田ゐに

うしろの田ゐに

〃 一四 二

よみきらん事や

活ノ誤カ

三五一 六・一五 肩

同

〔ナシ〕

卷十三

三五三 八 肩

(代敷)

〔ナシ〕

三五四 二 肩

(九イ)

〔ナシ〕

〃 五校

かも万

〔ナシ〕

系ハ「…当座三百歌合」トアリ、正シ。

34

三七六	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	三七五	〃	三七四	〃	〃	三七三	〃	三七二	〃	〃	〃	三七一	〃	〃
二	四	一三	〃	二	〃	八	七	二	一	九	一	七	三	一	一五	一三	一七	一	七	四	一〇	七
作	四	肩	三	初	四	肩	肩	初校	四	五校	詞	肩	詞	同	詞	初	詞	詞	作	作校	二	二
後京極撰政	のわきにたへぬ	六一	ふくなれと	秋かせは	木の葉のきぬを	菅万	新六六	さい	こちと薄の	こカ	嘉元二年百首	六一万二	よめる所	家集	つふらえの	為家卿百首	或抄中	慈鎮和尚	*後京極 政	隆源法師イ	われとはめやは	我こはめやは

後京極	野分にたらぬ ^{ヘイ}	新一	ゆくなれと	秋風の	木の葉のぬきを	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	山本 薄の	〔ナシ〕	嘉元々年百首	〔ナシ〕	申める所	〔ナシ〕	〔ナシ〕	つふしくの	為家卿家百首	式抄中	慈鎮	後京極撰政	〔ナシ〕	われとひめやは	我恋めやは
板ノ脱落カ	板ノ誤力				活ノ誤植			〔注上〕			活ノ誤読												系ハ「我こはめやは」 ^{とカ}

板ノ脱落
板ノ誤脱カ

板ノ脱落カ
板ノ誤カ

板ハ誤カ〔注2〕

慈鎮

隆卿

新六

秋の野のにイ

後京極

〔ナシ〕

をのかなりとは

秋悲在北貴人心

〔ナシ〕

〔ナシ〕

慈鎮和尚

家持卿

新六四

秋の野の

後京極撰政

裸敷

おのかなりかは

悲秋不到貴人心

孤イ

きこりカ

八 作

一四 作

七 肩

九 三

〃 作

一一 詞校

三 四

四 詞

五 詞校

一三 四校

三八三

〃

〃

〃

三八四

〃

〃

〃

〔注1〕

〔注2〕

〔ら〕ノ字、或イハ〔ゝ〕ニテ、初句ハ「さゝてふす」トスベキカトモ思ハル。
〔在〕ノ字体、「右」ニモ似テ、稍々不分明。

卷十四

三八六

〃

〃

三八七

三八八

〃

〃

三八九

〃

〃

一〇 肩

一一 肩

一五 詞校

二 詞校

五・六 肩

九 詞

一三

一 五校

一三 初

一四 肩

新六六

桑門

晚イ

雨後イ

新六六

：雅五十首中

さうのこゑ

かな家

なみかへる

現存六

新六二

〔ナシ〕

〔ナシ〕

〔ナシ〕

〔ナシ〕

新六々

：虫五十首中

そらのこゑ

〔ナシ〕

浪かくる
〔ナシ〕

活ノ誤

活ノ誤読カ

活ノ誤読カ

〔ナシ〕
 名所
 〔ナシ〕
 光明峯寺
 暁擲衣
 皇太后宮
 秋御哥中曳藥
 家集秋哥中に
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕
 六一
 式抄中
 ふきかへす
 おりしるこらか
 〔ナシ〕
 新六二
 ねなはかほに
 恋わたりなん
 〔ナシ〕
 〔ナシ〕

板ノ脱落力
活ノ誤
活ノ脱落力
板ノ脱落力

八〇一四 作

同

〔ナシ〕
たえすもみよと

「こ」ハ活ノ誤読

四〇七

一四 作

こえすもみよと

〔ナシ〕

活ノ誤読

四〇八

五五校

身家集

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

一三 肩

万代

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

一四 詞

…玩菊…

…翫菊…

活ノ誤読

四〇九

一七 三

ふるければ

ふかければ

活ノ誤読

〃

題不知古来歌

堀河中宮…

題不知古来哥

活ノ誤読

〃

五 詞

*判者基俊云

河中宮…

活ノ誤読

四一〇

九 詞

十題百首菊

判者基俊云

活ノ誤読

四一一

四 詞

御集兼作に

〔ナシ〕

活ノ誤読

四一二

六 四校

さい

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

三 詞ノ下

〔ナシ〕

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

一一 肩

新六六

新六二

活ノ誤読

四一五

一五 詞

歌林苑…

歌林苑…

活ノ誤読

〃

作校

或本藤原伊綱歌云々

或本藤原任綱哥云々

活ノ誤読

〃

二 詞

菊をよめる古来歌

菊をよめる古来哥

活ノ誤読

〃

八五校

同後葉

同後葉

活ノ誤読

卷十五

八 作校

信イ

〔ナシ〕

活ノ誤読

四一六

二 詞

…左大臣家にて

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

五五校

雨イ

〔ナシ〕

活ノ誤読

四一八	一五	作	皇太后宮大夫俊成卿
四一九	六	作校	宮殿
〃	二	肩	万十七
四二一	九	初	さはりせし
〃	三	詞	秋歌中古来歌
〃	一四	肩	新六六
四二二	三	肩	新六六
〃	四	肩	新六六
四二三	一	詞	*判者定家卿云
四二四	六	詞	*治六年文：
〃	一六	二	三山の梢
四二五	四	四	折かけてける
〃	七	詞	：経盛卿家歌合
〃	八	四	立なかへしそ
〃	一三	肩	題五
〃	一四	肩	歌苑抄
四二六	九	肩	石向
四二七	一七	詞校	旧イ
四二八	二	初	山もとの
〃	一六	二校	たゝ敷
四二九	五	五	わかすそ有ける
四三〇	一五	詞	*嵯峨故内府：
四三一	一六	詞校	歌イ
四三二	九	作	西行上人

皇太后宮大夫俊成	板ノ脱落カ
〔ナシ〕	
〔ナシ〕	
つはりせし	活ノ誤読カ
秋歌中古来哥	
新六二	
新六二	
新六	
判者定家卿云	
文治六年：	国ノ誤植
み山の梢	活ノ誤読
折かけてけり	
：経盛卿哥合	板ノ脱落カ
たちなかくしそ	活ノ誤読
〔ナシ〕	
〔ナシ〕	
石間	活ノ誤読カ
〔ナシ〕	板ノ誤カ
山下の	活ノ誤カ〔註1〕
〔ナシ〕	
わかすそ有けり	板ノ誤
嵯峨故内府：	
〔ナシ〕	
西行法師	

四三三

一 詞

南北百番歌合

〔ナシ〕

板ノ脱落カ

〃

一一 肩

万十五

〔ナシ〕

板ノ脱落カ

四三四

一五 詞

百首歌三神山

明玉

〃

七 肩

六帖 明玉

〔ナシ〕

〃

一二 作校

明敷

兵部卿元親王…

活ノ誤読

〃

一四 詞

兵部卿元親王…

六四

四三五

一六 肩

六四 万七

六二

四三六

一七 肩

六六

うちならぬ共

活ノ誤読カ

〃

一一 五

うちならぬ共

新六

〃

二 肩

新六六

新六

四三七

四 詞

兵部卿元良親王…

〔ナシ〕

系ハ「をしくは有りけり」
る古

〃

一三 五

をしくは有ける

〔注上〕 管見ノ写本ニハ「山したの」トアリ。

卷十六

四四〇

九 四校

荻敷

〔ナシ〕

四四一

一三 作

太皇太后宮種子

太皇太后宮種子

板ノ誤カ

四四三

三 詞

千五百番歌合

千五百番

板ノ脱落カ

〃

七 肩

万一

〔ナシ〕

〃

八 肩

万十

〔ナシ〕

〃

一五 詞

家集

家集中

四四四

一二 肩

万代

〔ナシ〕

四六六	〃	〃	〃	四六五	〃	〃	〃	〃	四六四	四六三	四六二	〃	〃	四六一	〃	〃	四六〇	〃	四五九	〃	〃	〃	〃	四五六	四五八
五	一二	一一	七・一〇	一	四	三	一	一三	一	一三	二	八	一七	一五	一三	一五	一四	五	九	七	一七	一六	八	一〇	三
校	校	校	肩	肩	詞	三	三	初校	校	校	二		二	詞	校	詞	詞	初	校	四	四	五	肩	肩	肩
さしイ・ふねイ	やイ	匡イ	新六三	万三	*長歌	ひきかゝふりぬ	綿さほに	ヘイ	□眼		*八条入道大相国		うえにやとれる	家集古来歌合	建礼門院右京大夫イ	同	百首御歌	其方としも	かイ	*判者行家卿云	物にもなして	霜かれのいほ	後葉集	新六六	新六一

〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕
〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕	〔ナシ〕

活ノ誤カ
活ノ誤読

系ハ「百首御頭」

板ノ誤カ、系ハ「建礼門右京大夫イ」

国ノ誤読、系ハ「上に宿れる」

〔注2〕

板ノ誤カ

板ノ誤カ

国ノ誤植

板ノ誤カ

〃 一二四 *ひをくゝりとは

四六七 一 二 眺めくらせは

ひをくゝるとは
なめくらせる

国ノ誤読力
板ノ誤力

〔注1〕 板本ニオイテ、肩注ニ勅撰集ノ名ノ見ユル稀有ノ例。
〔注2〕 「誓」ノ字、「折」ノ下ニ「之」ヲ書ケル如クニテ、

「誓」トスルニモ聊カ躊躇セラル。

卷十七

四六八

三 題 霰 霰

霰 霰

〔注1〕

〃

八 初 *かはすにも

かはへにも

国ノ誤力

〃

〃 二 雪はふれゝし

雪はふれらし

〃

一二 三校 ねイ

〔ナシ〕

四六九

三 詞 ……水のほとり千鳥の…

……水のほとりに千鳥の…

活ノ脱落力

〃

一四 肩 六六

六

〃

一七 三校 *しイ

〔ナシ〕

四七一

三 肩 六帖三

六帖

〃

六 肩 雲葉イ

〔ナシ〕

〃

九 二 いはまにこほる

いしまにこほる

〃

一二 四校 きイ

〔ナシ〕

〃

一四 三 さむからん

さむからし

〃

一五 肩 六六

六一

〃

一六 五校 ん家

〔ナシ〕

四七二

一 詞校 名所イ

〔ナシ〕

〃

三 初校 なイ

〔ナシ〕

〃

四 二校 *とイ

〔ナシ〕

系ハ「むイ」

四七八 " " " " " 四七七 " " " " " " 四七六 " 四七五 " " " " 四七三 " " "

一二 作校 一一 三校 一二 三校 一三 詞校 一四 詞校 一五 三校 一六 四校 一四 四 一一 肩 二 詞 五 四 一二 詞 一三 肩 四 校 一六 肩 八 肩 一〇 詞 一三 詞 一五 初 一六 初 二 肩 一二 肩

三イ なに万 家イ 程の苦しき 海イ *...人に... すき集 に集 心もしぬに 六三 ...仙洞卅首歌... 心もぬれて 題不知古来歌合 六三 やましなもとか 時は六・とこひしく六 撰葉 万代 千鳥を古来歌合 浜千鳥を古来歌合 あらし吹 あらしふく をしまかさぎの 六帖三

〔ナシ〕 〔ナシ〕 〔ナシ〕 ほとくの苦しき 〔ナシ〕 ...人... 〔ナシ〕 〔ナシ〕 心もしらぬ 〔ナシ〕 ...仙洞廿首歌 心とぬれて 題不知古来歌合 〔前行ノ歌ニアリ〕 やましなりとか 〔ナシ〕 現葉 〔ナシ〕 千鳥を古来歌合 浜千鳥を古来歌合 あなし吹 あなしふく としまかさぎの 六帖

活ノ誤読カ
国ノ誤読
系ハ「家集」トノミ

板ノ誤力

活ノ誤

一〇ノ次

〔ナシ〕

〔一首アリ〕

〔注2〕

一五 作

從二位家隆卿

從三位家隆卿

四九〇

四 作校

三イ

〔ナシ〕

活ノ誤読

〃

一七 三

さしぬれは

さえぬれは

四九二

一〇 三

さしなから

さえなから

〃

一七 作校

家隆イ

〔ナシ〕

四九三

九 肩

新六一

新六

〃

一二 題

霰

〔ナク、ツメ〕

四九四

五 詞

永久四年百首霰

永久四年百首寒

〃

三

とけぬらん

とちぬらん

板ノ脱落カ
板ノ誤カ

〔注1〕

板本モ、本文ニオイテハ「霰 霰」ノ順トセリ（但シ「霰」ノ題ヲ脱ス）。

〔注2〕

板本、コ、ニ

あつまちやふしのわたりのいかならんみやこの河もこほらぬはなし

ノ一首アリ。詞書・作者名ハコレヲ欠キタレバ、前歌ノソレヲ受クルコトトナル。ナホ、管見ノ写本ニモコノ一首ハアリ。

卷十八

四九五

四 五校

ふるらし万

〔ナシ〕

四九七

二 四

風もやゆきに

月もや雪に

〃

一〇 詞

…源広綱朝臣…

…源孝綱朝臣…

〃

一七 校

潤イ

〔ナシ〕

四九八

二 校

有カ

〔ナシ〕

〃

〃

こゑをも…氷の下を

こゑをも…氷の下を

〃

一三 肩

万十

〔ナシ〕

五二八

〃 〃 〃

九

〃

一四 一三

詞

肩

詞

肩

千五百番歌合

新六一

六帖題しらす

六一

千五百番哥合

〔ナシ〕

六帖題しらす

〔ナシ〕

板ノ脱落

活ノ誤